



# まつお 正秀のかから版

自宅 能登町 12 - 58 - 108 能登レックスマンション Tel・Fax73 - 0775

携帯 090 - 6960 - 4570 議員団控え室 Tel35 - 3368 Fax22 - 7815

西宮議員団ホームページ (まつおの活動紹介あり) <http://nishinomiya.jcp-giin.net/>

ブログは「まつお正秀の雑記帳」検索で

## 今年も新年度予算編成に対する要望書提出

### 皆さんの願い込めた423項目

党議員団として毎年8月に、市の新年度の予算平成に向けた要望書の提出を市長に行っています。12月議会には来年度の予算の概要が示されますので、それまでに市民の皆さんからお聞きしている事案も含めて、新年度の予算に反映させるように当局に伝えておかないと、具体的な財源を確保して実施するということができません。

議員団では、それぞれの議員が所管する常任委員会ごとに昨年提出した要望書も参考にしながら案を作成し、集団でそれをさらに議論して最終文書に。決算審議前のこうした作業は、自分以外の部署の問題を

共有化することができ、9月議会で行われる前年度決算審議の質疑にもおおいに役立ちます。



要望書の概要説明する議員団 (左側)

今年国において、医療・介護総合法案の可決

で病院ベッド数のさらなる削減や、介護保険の要支援者が国の制度から外されるなどの改悪が行われました。子育ての分野でも、子ども子育て新制度によって

て民間の儲けの対象にする方向が強められつつあることから、市が独自の支援策で今まで通り、あるいはさらなる上乗せをするよう求めています。また、各地で土砂災害が起きていることからその対策を求め、芦屋で行われた阪神自治体と県との防災訓練に初めて米軍が参加したことから、今後県に対して今回のような要請をしないようにも求めています。

すでにこれまでの基金に加え、決算剰余金(予算に対して実際に使ったお金を差し引いた残額)が合計250億円になる見込みで、要望の423項目は実現可能ではないでしょうか。

# 党議員団住民アンケート続々返信

現在党市議団で取り組んでいる住民アンケートは、いま話題の「政務活動費」で行っています。すべてのお宅に配布するまでには至っていませんが、配布されたお宅から続々と返信されています。今回は野々村県議の問題があったことから、**政務活動費**についての記述が多いのが特徴です。西宮市議会では個人の電話通話料や車のガソリン代などは、議会の為に使うことはあっても、毎月いくらと決まっていますから、按分という形で三分の一支出することが可能。しかし、**党議員団は、議会活動と個人の活動との区別がつきにくいことから、そのようなものへの支出はしていません。また、個人と党派とどちらでも受領できる仕組みですが、個人としての支出は認めず、党派として処理を行い、税金使途の透明化に努めています。**

## 健康あれこれ 32回 男性の更年期

閉経とともに女性ホルモンの減少で起きる女性の更年期。男性ホルモンの分泌低下で体調の変化をまねく「男性更年期」もあるそうです。女性ほどははっきりした兆候がないため気づきにくく、血液検査で初めて知ることが多いとか。骨や筋肉の形成、脂質代謝や認知機能などに影響を及ぼす男性ホルモンですが、その一種である「テストステロン」が減少することによって、集中力の低下、動脈硬化や体脂肪増加（肥満）を招くそうです。このホルモンは環境からの影響を受けやすいので、深い睡眠や運動によるストレス発散が有効とのこと。

## 食べ物豆知識 96回 スーパーフード

老化の原因といわれる活性酸素。その活動を抑える抗酸化作用のある食べ物の摂取が若さを保つためには必要で、最近注目されているのが「スーパーフード」。それは宇宙食のように加工されたものでなく、12種類以上の栄養成分を含み、栄養価が高く、体に必要な栄養素のみ含んでいることを条件に選ばれたもので、身近な食品にも多い。野菜ではトマトやキャベツ等で最上位にはケールが挙げられ、果物ではキウイやレモンなど種類もたくさんで、大豆やヨーグルトも含まれます。これも特定の物に偏らず色んなものを食べるのがいいとか。

## まつお正秀のフラム

8月31日に芦屋市で、阪神間自治体と県合同の防災訓練が行われ、今回は米軍のヘリコプターが参加。兵庫県には米軍基地はありませんが、基地のない自治体として初めてのことで。しかも井戸知事は、当初オスプレイの参加要請を行っていたことも明らかに。在日米軍は殴り込みにいるかどうか分からない組織。東日本大震災後のトモダチ作戦では、他の国などからは無償支援だったのに、アメリカからは後日その費用68億円の請求書が日本政府に届いたとか。沖縄ではすべての自治体が、オスプレイ配備と普天間基地国内移転反対の建白書を政府に提出しています。基地のある地域で続く米軍犯罪や騒音被害。こうした米軍批判の高まりに、井戸知事は国の意向を汲んで米軍アレルギー緩和を、とも思ったのか。防災訓練といいつ訓練参加者にヘリコプターの見学や写真を撮らせるなど、違和感を覚えたのは私だけではないはず。